

RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータでのSNMP設定

目的

簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)は、IPネットワーク上のネットワークデバイスを収集し、設定します。障害や不適切なアクセスを検出することで、パフォーマンスを監視できます。

このドキュメントの目的は、RV016、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータでSNMP設定を行う方法を説明することです。

適用可能なデバイス

- ・ RV016
- ・ RV042
- ・ RV042G
- ・ RV082

[Software Version]

- ・ v4.2.2.08

SNMPの設定

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、System Management > SNMPの順に選択します。SNMPページが開きます。

SNMP

Enabled SNMP

Save

Cancel

ステップ 2 : SNMP機能を有効にするには、Enabled SNMPチェックボックスにチェックマークを付けます。追加のフィールドが表示されます。

SNMP

Enabled SNMP

System Name :	<input type="text" value="router1"/>
System Contact :	<input type="text" value="Name1"/>
System Location :	<input type="text" value="id@example.com"/>
Get Community Name :	<input type="text" value="public"/>
Set Community Name :	<input type="text" value="private"/>
Trap Community Name :	<input type="text" value="public"/>
Send SNMP Trap to :	<input type="text" value="192.168.1.33"/> (For IPv4)
Send SNMP Trap to :	<input type="text" value="ff06:0:0:0:0:0:0:c3"/> (For IPv6)

ステップ 3 : System Nameフィールドに、ルータのホスト名を入力します。

ステップ 4 : System Contactフィールドに、ネットワーク管理者の担当者名を入力します。

ステップ 5 : System Locationフィールドに、ネットワーク管理者の連絡先情報を入力します。

手順 6 : Get Community Nameフィールドに、SNMP GETコマンドを入力します。上限は64文字の英数字です。デフォルトはPublicです。

手順 7 : Set Community Nameフィールドに、SNMP SETコマンドを入力します。範囲は最大64文字の英数字です。デフォルトはPrivateです。

ステップ 8 : Trap Community Nameフィールドに、トラップとともに送信されるパスワードを入力します。範囲は最大64文字の英数字です。デフォルトはpublicです

ステップ 9 : Send SNMP Trap toフィールドに、要件に基づいてIPv4またはIPv6のそれぞれのフィールドにIPアドレスを入力するか、SNMP管理ソフトウェアを実行しているサーバのそれぞれのフィールドにドメイン名を入力します。

ステップ 10 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。